

神は羽をもってあなたを覆い 翼の下にかばってください。神のまことは大盾、小盾。

夜、脅かすものをも 昼、飛んで来る矢をも、恐れることはない。

暗黒の中に行く疫病も 真昼に襲う病魔も

あなたの傍らに一千の人 あなたの右に一万の人が倒れるときすら あなたを襲うことはない。

詩篇 91 編 4-7 節

私たちの信仰は、いつどのような時であっても、ただ主なる神に依り頼む信仰です。そして主は常に私たちの避けどころとなってくださいます。

そして、私たちが一番に神に向かってなすべきことは、「自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい」（ローマ 12 章 1 節）であり、どのような時であれ礼拝を献げることに変更はなく、教会は礼拝をしないということはありません。

しかし、2020 年 2 月頃から新型コロナウイルスの感染が広がり、今私たちはいつ感染するかもしれないという恐れと、知らない間に感染させてしまうかもしれないという二つの不安と恐れに怯えていることも事実でしょう。まず自分で予防できることを行い、感染しない、感染させないことを十分に実行することは大前提です。個人でできる最大のことを行うことは、自分の命、他者の命を守ることにになります。その上で、可能な限り神を賛美し、共に礼拝することに務めていきたいと願い、長老会では以下のことに留意しながら、礼拝を献げて行くことを決めました。

私たちが守ること

・礼拝に行く前に体調を確認しましょう。体温が 37 度以上あるときや、咳が出るとき、いつもと違うだるさがあるときなど、平常と違うときは進んで礼拝を休みましょう。また公共交通機関を利用される方は十分に注意し、心配な場合はお休みくださってもかまいません。その場合、礼拝時間に合わせて、共に祈りましょう。事前、また事後でも教会に欠席の連絡をしていただくと、あなたのことを覚えて祈ることができます。

・礼拝に来るときは、マスクを着け、受付で手指の消毒をするかトイレなどでよく洗ってください。

・礼拝堂の中で座るときは、できるだけ座席を空けて座ってください。それができないときは、隣の人とは黙礼程度にとどめて会話は避けましょう。

・この時期は、礼拝後も速やかに退出しましょう。感染が収束し、マスクを外して思い切り笑い合い、語り合う時が来ることを祈りながら待ちましょう。

・礼拝にやむを得ず来ることができなくなったときは、礼拝奉仕者を覚えて祈り合いましょう。特に牧師、伝道師の働きを覚えて祈りましょう。

・インターネット環境が整っている方には、礼拝のライブ配信も計画しています。配信ができるようになればお知らせしますので、同じ時間に説教を聞き祈りを合わせることができるようになります。

教会が対応していくこと

- ・感染予防となる三つのこと（「密室を避ける」「密接になることを避ける」「密集を避ける」）を守っていきます。
- ・礼拝中は廊下の窓、玄関ドアを常に開放し、換気をよくして行います。寒いと思われるときは、コート着用など十分に寒さ対策を行ってください。
- ・感染が収束するまで、窓のない小礼拝堂は使用禁止とします。教会学校礼拝は2階集会室で行い、受洗後講座は、礼拝後の礼拝堂前方で行います。これまで、小礼拝堂で礼拝しておられた方のために、ロビーに椅子を並べて使用していただくようにします。
- ・礼拝での賛美歌は、全曲を歌わず、牧師と奏楽者で決めた番号のみを歌うことにします。その時でもできるだけマスクを着用したまま賛美してください。
- ・聖餐は、執事が一人ずつにパンと杯を配るようにします。
- ・親子室を利用して礼拝するときは、ドアを開放して使用してください。
- ・礼拝後のコーヒーアワーは中止します。
- ・聖書研究祈祷会は、2階集会室全てを使用して行います。
- ・その他の集会は、原則として中止します。

今後の対応について

全国は緊急事態宣言されましたが、岡山は今の所（4月18日現在）まだクラスターと言われる集団発生にはなっていません。しかし、いつそのような事態になるやもしれず、また教会員や礼拝参加者の中に、感染がある場合も考えられます。もしそのような事態になった場合、礼拝は閉鎖した中で司式者のみが行うことになるかもしれません。そのような場合には、速やかに緊急連絡網を利用して、お知らせいたしますので、緊急連絡網に登録していることを確認してください。常に噂や差別、誹謗中傷することから身を遠ざけ、感染者のこと、その家族のこと、医療従事者のこと、また礼拝司式者のことを覚えて、祈り合いましょう。

2020年度の教会年間目標は「教会の一致のために、説教と聖餐を重んじよう」と定めています。どのようなときも、私たちは主を賛美礼拝する群れとして、説教と聖餐を重んじつつ、終わりの日の希望を持って祈り合いましょう。

もはや、呪われるものは何一つない。神と小羊の玉座が都にあって、神の僕たちは神を礼拝し、御顔を仰ぎ見る。彼らの額には、神の名が記されている。ヨハネの黙示録 22章 3-4節

2020年4月18日 日本基督教団 蕃山町教会 長老会